

学生・技術者のための森林リモートセンシング画像解析セミナー in 信州

主催:森林GISフォーラム 共催:信州大学農学部アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC)
後援:日本森林学会、日本写真測量学会、日本リモートセンシング学会、森林計画学会、リモートセンシング技術センター(RESTEC)

時:2007年9月9日(日)午後1時~午後5時

9月10日(月)午前9時~午後5時

場所:信州大学農学部26番教室 長野県上伊那郡南箕輪村8304

交通アクセス <http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/access/index.htm>

農学部へのアクセス <http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/access/index.htm>



講師:加藤正人(信州大学農学部AFC)

内容:国産だいち(ALOS)衛星を使った森林の画像解析

- 1)画像解析入門 データ入力、画像表示、強調
- 2)演習林でのグラントルースと森林調査
- 3)画像解析中級 林相分類 ハイブリッド解析

使用ソフト:MultiSpec(無料ソフト 北米を中心に数万人のユーザー登録)

募集人員:40名(パソコンの使用台数)自分のノートPC持参もOK

テキスト:改訂森林リモートセンシング 加藤正人編著 J-FIC発行

その他の講義資料は講師が用意する

費用:学生6千円、一般1万円 1泊2日の宿泊食費代(懇親会)とパソコン実習込み

10日の宿泊は別途宿泊費(4400円)が必要です。

宿泊施設:フォレスト大芝(温泉つきの合宿施設)

http://www.yado-navi.jp/yado/info_htl.asp?htlid=32



特徴:森林リモートセンシングの若手研究者育成の普及セミナー

- 1)地球温暖化の影響の少ない涼しい信州で2日間の実習です。
- 2)講師は昨年、北米で学んだ最新技術を紹介します。
- 3)ソフトは英文表示ですがフリーウェアです。セミナーの後も利用できます。
- 4)使用するデータは昨年打ち上げられた国産だいち(ALOS)衛星です。
空間解像度はカラー10m、白黒2.5mです。販売価格は2万5千円(安価)です。
- 5)懇親会を用意します。勉学と友だちづくりが同時にできます。
- 6)卒業論文や修士論文研究の参考にしてください。
- 7)信州大学農学部の構内演習林を調査できます。
- 8)宿泊施設は山岳景観(中央・南アルプス)温泉、森林セラピーを楽しめます。

セミナー申し込み・問合せ(メールでお願いします)

信州大学農学部森林計測・計画研 satamori@hotmail.co.jp

前泊は各自で対応をお願いします。

農学部周辺の宿泊施設 <http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp:80/access/index.htm>